



院長
須藤 英仁

病院の近況

うっとうしい梅雨が明け、きびしい暑さが続いております。皆様お変わりありませんでしょうか？

病院では6月から乳がん検診の新体制がスタートいたしました。当院ではこれまでも、マンモグラフィーの設置をはじめとしてみんなの努力をしてまいりましたが、このたびマンモグラフィー検診精度管理中央委員会の検診施設として認定を受け、検診を受けていただくための完全な形を整えることができました。

マンモグラフィー読影医師として泉・小野・篠崎（木曜のみ）の3名の医師を要し、成田放射線技師を中心に検診を行っております。3名の読影医を要する病院は県内でも有数となりました。日本人女性の30名に1人が乳がんを発症するといわれる現在、さらに正確な診断治療に努めていきたいと考えております。

老健めぐみの近況

老人保健施設めぐみでは増床も終了し、ようやく3階部分の運営が軌道に乗ってまいりました。今回の増築により、これまで多くの労力を費やした、3階から1階への入所者のエレベーター移動という部分を無くす事ができましたが、今後どのように入所者のリハビリを充実し看護・介護に関わっていただけるかが、新たな研究課題となっております。私たちが何か新しい事を提案し・始めようとする、常に問題となってくるのは、入所者の安全とそれにかかる労働力です。

まず入所者の安全に関してですが、歩ける入所者の転倒の危険性について話をさせていただきます。ある家族からは“縛っておいて欲しい”などの要望を出されることがありますが、“縛る”ことが介護の向上、また入所者の満足になるのでしょうか？やはり人間として動けるときは動いて活動することが大切かと思えますし、またその方の生きる力になっていけると思えます。



労働力について考えますと、一人一人について介護をする、つまり日本の昔の家庭のような形が理想なのかもしれません。お姑さんの介護をお嫁さんがすることを、当然のように思い、時々医師が往診をして家庭で看病する。このような光景が30年程前は日本中どこにでもあったように思えます。しかし現在では、少子高齢化社会である事と共働きの家庭が多いため、不可能といってもよいでしょう。私たち医療業界、介護業界も労働力確保のため一生懸命努力していますが、なかなか厳しいことも現実です。そんな時頼りになるのは、家族の皆様への訪問です。家族の皆様どうぞ施設にいらして下さい。このことが入所者の喜びになり、介護者の励みとなります。介護者の目に届かない点でも、家族の方に気が付いてもらえることが多く

あるからです。こんな所がおかしい・危険であるとぜひ提案していただきたいと思います。

私どもの施設に、ほとんど毎朝訪れている、Sさんという方がおります。その方はお仕事をお持ちのため、昼間はお忙しいのですが、毎朝施設を訪れ母上の食事のお世話をされております。そのことは、少ない介護者で対応している中で、本当にありがたく思っております。また、母上に向けられた目が、その回りにいる他の入所者の方の安全にもつながっていると確信できます。このようなことがございますので、どうぞ入所者のご家族の施設訪問をよろしくお願ひします。

今回も勝手なお願いを申しましたが、私たちの施設はご家族の方々の暖かい声援や励ましにより支えられております。これからもどうぞよろしくお願ひ致します。

駐 車 場 案 内

少々手狭となっていた第三駐車場が拡大されました。今まで狭く停めづらいとされていた、第三駐車場が今回の拡大により、ゆとりを持って停められるようになりました。

駐 車 場 (病院3Fより撮影)



駐 車 場 平 面 図



突撃質問コーナー

今回の突撃質問コーナーでは須藤病院の癒し系Drの玉田潤平先生に突撃Q&Aさせていただきました。

いつもの診療中とは違った一面が、かいま見えるかどうかは分かりませんが？先生の意外な過去が今ここに…



この事がきっかけで、なにげない一言が患者・家族の生き方さえも変えてしまうんだと、感じたんだよね。

Q1 出身は？

A1 東京

Q2 出身校は？

A2 群馬大学

Q3 群大を選んだ理由？

A3 なんとなく入りやすそう？

Q4 現役？浪人？

A4 一浪です

Q5 どこか塾は行きましたか？

A5 代々木ゼミナール

Q6 いつ頃から医者になろうと決めたのは？

A6 一浪中

Q7 医師を目指すうえで影響を受けたもの？

A7 おじが医師であった・

子供のころに見た海外ドラマ『ベン・ケーシー』

Q8 通勤の服装こだわりは？A8 特になし、医者らしくないといわれる

Q9 白衣のスタイルは？

A9 ケーシー派です。

理由:大学の先輩である石川誠先生（長嶋監督をリハビリした先生）がピシッとした真っ白なケーシーを、さっそうと着こなす姿に憧れた。

影響を受けたベン・ケーシーは、白衣ケーシーの語源でもある。

Q10 患者さんに言われて嬉しかった事は？

A10 医師になって2年目のころ、難病で治療している子供の親に、なにげなく言った「がんばって」の一言が結果として、その親子を勇気付けていたんだよね。のちに大きくなったその子供と親が自分のもとに会いにきて、あの時の言葉があったから励まされ頑張ってこられたのだと言われた事かな。

Q11 医者になってよかたと思ったこと？

A11もともと貧しい家庭環境であったが当時に比べれば余裕が持てるようになった。

Q12 逆にこんなはずではなかったことは？

A12 仕事に追われ、時間に余裕が持てず、家庭を犠牲にしたこと。

Q13 医学部学生時代の思い出は？

A13 サッカー部の仲間たちと過ごした日々。良いことも悪いことも、この仲間たちと一緒に経験してきた。つまり女っ気なしということだな。

Q14 臓器提供ドナーカード持っていますか？

A14 ない。

Q15 献血はしますか？

A15 あまりしたことがない。1~2回位あるかな？

Q16 もし他の職に就くとしたら？

A16 教師かな？

Q17 趣味は？

A17 一人旅

Q18 座右の銘は？

A18 いつも明るく

Q19 自分を動物にたとえると？

A19 タヌキかな？

Q20 好きな音楽は？

A20 ブルース

Q21 今後の夢は？

A21 ホタルや満天の星空を眺めながらのんびり過ごしていきたい

Q22 お疲れ様でした。質問受けてみてどうでしたか

A22 いろいろ考えさせられる部分も多々あり、こんなのでいいのかと心配になった。

その他にも多くの質問をしましたが紙面の都合上、以上の質問のみとさせて頂きました。玉田先生診療の忙しい合間に、このような時間をさいて頂き本当にありがとうございました。編集者U&J

